

通常学級の特別支援、特別活動、 いじめ防止、ケース会議等 について 最前線の先生方から学びませんか!!

上越市立教育センター 夏期カウンセリング研修

7月30日(水)、31日(木)、8月1日(金)の3日間、明日からの教育実践に役立つ次の4講座を教育センターでは開催します。学級に気になる子どもがいる、いじめ防止について知りたいなど、今悩んでいる課題の解決に向けたヒントが満載の研修です。

今からでも遅くありません。教務主任を通じて、是非、お申し込みください。

7月30日(水) 9:20~16:00

会場：教育フラザ 大会議室

通常の学級における特別支援教育 ～発達が気になる子への指導と支援の事例から～

講師 上越教育大学 関原真紀 准教授

小中学校の教育的ニーズのある児童生徒への指導・支援について、通常の学級における実践を中心に、事例を紹介しながら、子ども理解や教員間連携について研修を行う。

7月31日(木) 9:20~12:00

会場：教育フラザ 大会議室

**誰一人取り残されないウェルビーイングの向上を目指した学級づくり
～教育観のパラダイムシフトや特別活動の効果的活用を通して～**

講師 國學院大学 杉田 洋 教授

学習効率の良い学級集団づくりが、子供を苦しめてこなかったか。日本の学校教育の積年の課題である「正解主義や同調圧力」からの脱却をどう捉えるべきか。特別活動は、両刃の剣でもあるが正しく活用されてきたか。これらを踏まえ、誰一人取り残されない学級づくりについて学ぶ。

7月31日(木) 13:20~16:00

会場：教育フラザ 大会議室

今、学校に求められるいじめ防止対策の方向性と課題

講師 関西外国語大学 新井 肇 教授

『いじめ防止対策推進法』の成立から10年、『生徒指導提要』の改訂から2年が経過したが、重大事態の発生が後を絶たないなかで、昨年9月に「重大事態の調査に関するガイドライン」が改訂された。これらをふまえて、これからのいじめ防止対策の方向性と課題について考えてみたい。

8月1日(金) 9:20~12:00

会場：教育フラザ 大会議室

多職種連携とケース・アセスメント&ケース会議の進め方

講師 柏崎市子ども未来部子どもの発達支援課 小林 東 課長

近年、不登校や問題行動を示す児童生徒は、多重な問題を抱えている場合も少なくなく、教師がケースの支援課題をどのように見立て、学校外の社会資源とどのように多職種連携を進めるかが重要になってきている。本講座では、BPSモデル(生物・心理・社会)に基づくケースのアセスメントや、効果的なケース会議の進行ができるようになるための方法を学ぶ。

☆ 修了証は、教育カウンセラー資格取得のための証明になります。